

田中康夫

今月の憂いコト

瀬戸内国際芸術祭から、
アメリカ大統領選挙、
待機児童問題を解決する
フランスの保育ママまで！

東京・千代田区にある『3331 Arts Chiyoda』で、
「アジア・プロトコル・ムンタダス展」を鑑賞した後、
閉校した校舎の活用について語り始めた田中・浅田両氏。
話題は開催中の「瀬戸内国際芸術祭」へ、大統領選へ、
そして、待機児童問題へと移っていった。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui

浅田彰

憂

談呆国憂

season 2 VOLUME 71

「瀬戸内国際芸術祭」に見る、アートと地域の関わり方とは？

浅田 『3331 Arts Chiyoda』で観た「アジアン・プロトコル」は、アントニ・ムンタダスというスペイン人アーティストの展覧会。情報社会の問題をずっと扱ってきた硬派のアーティストだけど、今回は、彼が投げかけたさまざまな問いに対する日本人・中国人・韓国人の答えを併記して、共通性と差異を浮き彫りにしてる。その答えを黒板にチョークで書き記すところは、以前ここが旧・鍊成中学校だった名残も感じられて、なかなか面白かった。

田中 日中韓3国の社会科の歴史教科書も展示されていたけど、カラフルで図版が増えた半面、その薄さには驚いた。昔はもっとぶ厚くて重かったから毎日持ち運ぶのが大変で、僕は2冊買って学校と家の両方に置いていたもんだよ(笑)。

浅田 閉校した学校をアート・センターに活用するのは、ニューヨークのPS1あたりから始まった動きだけど、日本でも各地に広がってきた。京都でも旧・明倫小学校が『京都芸術センター』になってるし、日本でも初めて映画が上映された旧・立誠小学校も『立誠シネマ』を含むアート・センターになってるし……。明治期の京都の小学校は市民が寄付金を出し合って建てたケースが多く、茶室まであったりして、なかなか立派だよ。

田中 ウィリアム・ヴォーリズが設計した滋賀県の旧・豊郷小学校も、丸紅の専務だった古川鉄治郎の寄付で建てられたもの。イソップの「兎と亀」をモチーフにした階段の手すりも魅力的で、建て替える計画が持ち上がった際には地元住民が保存運動を

展開した。2003年2月には僕も支援に出かけて、校舎を背に寒風吹きさらば校庭で車座集会を行ったよ。住民の熱意で取り壊しは免れ、アニメ「けいおん!」のモデルとなった旧校舎はファンにとつての聖地。現在は町立図書館や子育て支援センターが入って活用されているみたいだ。

浅田 前も言ったけど、香川県の高松港からフェリーで数十分のところにある男木島では、前回の「瀬戸内国際芸術祭」の影響もあって、閉校してた男木中学校が男木小・中学校として復活。隣の女木島の小学校は今も閉校中なんだけど、大竹伸朗が「女根／めこん」って作品を中心に蛍光色を駆使したポップな空間に作り替えた。あのままの姿で復活すれば世界一ポップな学校になるのに。

今はフェリーが2〜3時間に1便しかないけど、市や県が助成金を出して、クルマを乗せない高速船も含め1時間に1便は出すようにすれば、高松から20分で女木島だから、十分通える。民家を借りれば安く上がるし、子どもは自然の中で遊び放題。一生住むんじゃないけど、子育て期間中は家族で楽しい生活が送れると思うよ。

田中 今、開催中の「瀬戸内国際芸術祭2016」も人気みたいだね。

浅田 休日には交通がパンクするほどの人出。開会式の後、女木島に行つて、たまたま東浩紀と会ったんだけど、帰りのフェリーを待つて並んでたら、定員オーバーで積み残されることに。1時間待てば臨時便



が来るんだけど、「一人500円で乗り合いのチャーター船に乗れる」っていうおじさんがいたんで、急いで500円をつかませてその船に飛び乗った。トルコ海岸でギリシア領レスボス島に渡るうとする難民の気分——なんて言う和不謹慎だろうけど。

田中 どういう人が観に来るの？

浅田 普通の観光客が多いんじゃないかな。

「瀬戸内国際芸術祭」は今年で3回目だけど、総合プロデューサーの福武總一郎は、大竹伸朗なんかの作品が残ればいいと考える一方、地域おこしにも熱心で、総合ディレクターの北川フラムが主にそっちの旗振り役になり、悪く言えば「村祭り」を盛り上げるために若手アーティストを呼び集めて安く使い捨ててる印象も。しかし、そういう問題はあるにせよ、福武サイドで豊島美術館を筆頭とする傑作群が生まれてきたし、また、個々の島々が個性的で面白いから、世界的に注目される芸術祭になってきた。今年は「あいちトリエンナーレ」もあるけど、夏の名古屋周辺を歩き回らされるより、そりゃ瀬戸内の島々を見て回ったほうがずっと面白いからね。

この際、トランプでもいい？ 混乱するアメリカ大統領選。

浅田 アメリカ大統領選挙について、前回「結局ヒラリー・クリントンになるだろうし、バイジョンはなくても現実主義者だからまあいいか」って話をしたけど、実は彼女がビル・クリントン元・大統領のよう

な「悪賢い現実主義者」ですらないのが問題だって見方もあるし、クリントン夫妻はカネまみれでスキヤンダルが噴出しなくても限らない、あるいはテロの可能性もある、そうなる「ドナルド・トランプ大統領」の可能性もゼロじゃないってんで、一部では本格的に心配する向きも。

田中 トランプでは都合の悪い「本流」の共和党員が前ニューヨーク市長のマイケル・ブルームバーグに請うて出馬させ、トランプとクリントンとの三つ巴というのも考えられなくはない。ブルームバーグは無所属としては不出馬を宣言したけど共和党からならあるかも。

浅田 ただ、普通にいけばトランプに代わるのは予備選で2番手につけてるテッド・クルーズ上院議員。これが狂信的な宗教右翼で、トランプよりバイカもしれない。ただ、そうなるトランプが無所属で出馬、三つ巴になるとやっぱりヒラリーに有利だろうね。

ともかく、史上最低って言われるこの大統領選挙でこれまでのタブーがどんどん破られてきた。トランプは、日本や韓国がアメリカの防衛力に「タダ乗り」するのはおかしい、アメリカにもっと協力するのがイヤなら自分で自分を守れ、必要なら核武装したっていい、なんていう暴論を展開。北朝鮮の金正恩は核の先制攻撃もあるって言うてるし、にわかにきな臭い感じになってきた。

他方、2008年の大統領選挙でバラク・オバマに敗れたジョン・マッケイン上院議員がニューヨーク・タイムズに書いたデルマー・バークなる人物への追悼文はなかなかの名文。バークは共産党員で、スペイン市民戦争の反フランコ派に加わって従

軍、反フランコ派を指揮するソ連の欺瞞に

幻滅しながら最後まで戦い、戦後はアメリカの農村で組合活動なんかに関わりながら100歳まで生きた。そういう人物をあえて追悼することで、トランプや若い共和黨員との違いを見せつけ、現状に警鐘を鳴らすって戦略に基づいて書いたものだろうけどね。マッケインは北ヴェトナム軍に撃墜されて「ハノイ・ヒルトン」に囚われ、エリートの息子と知れて捕虜交換の候補に早くから名前が挙がったにもかかわらずそれを拒否して最後まで収容所にとどまった。それをトランプは「撃墜されるような兵士はそもそも負け犬だ」って一蹴したわけ。

しかし、大問題が一つ。マッケインは民主党のジョー・リーバーマン上院議員と近く、マッケイン（正）＋リーバーマン（副）で大統領選挙に出れば歴史的だとも言われた。それが、ポールスター（世論調査の専門家）の意見に引きずられて、アラスカ州知事だったサラ・ペイリンを副大統領候補にすることにより、ペイリンに代表されるティーン・パーティーを主流派に組み込んだ。そのペイリンが今回もいちはやくトランプを推薦したわけだからね。

田中 日韓も核武装せよと主張するトランプの発言は、皮肉にも日本の「自主独立・自主防衛論」を唱えてきた面々が望む内容でも、それはアメリカの政官財の「本流」は望んでいないから、たいした覚悟もなく言っていた日本の面々は板挟みで大変なことになるかもね。

他方、民主党のバーニー・サンダースも侮れない。イギリスのジェレミー・コービン労働党首やカナダのジャスティン・トルドー首相と似たラインで、有能なスタッフがつけば原理主義ではない現実的な判断

ができるかもしれない。

浅田 サンダースはトロツキスト系の古い左翼で、いまのアメリカであの政策をそのまま実行するのは不可能だけど、いろんな法案に付帯決議をつけて現実的成果を得るとか、議員として頑張ってきたんで、けっこう柔軟にやれるんじゃないかとも思うよ。

田中 ジョセフ・スティグリッツも先頭に立った「オキュパイ・ウォール・ストリート」運動に共鳴する国民が、クラウドファンディングのように草の根的な献金を行って、軍事・製薬・金融の巨大産業からの献金を受けるヒラリーよりも上回っているのは興味深いね。

高学歴に見合うだけの仕事に就けず、収入にも恵まれない「ホワイトカラー」の白人層がサンダースに投票している。その一方で、中間層の黒人がクリントン推しのヒスパニックやイスラムといった新国民

ウーム、平壤に
デイズニランドが
オープンする日も
近いかも（笑）。（田中）



田中康夫

たなか・やすお ● 1956年東京都生まれ。

一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。

長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。最新刊は『33年後のなんとなく、クリスタル』。

の台頭を恐れる既得権者になってきている証しだし、逆に共和党を支持してきた「ブルーカラー」「グレイカラー」の白人の労働者がトランプに期待しているのも象徴的。

浅田 サンダースに比べると、スーパーPAC（特別政治活動委員会）への巨額の献金に依存するヒラリーが、既得権の象徴に見えちゃうんだよね。他方、トランプも自己資金が主だから資金提供者に左右されないのは事実だし……。

ともあれ、トランプがタブー破りの暴言を繰り返すのは大衆向けのメディア戦略で、よく見るとその暴言にもいろいろ条件をつけてるし、何度も破産したとはいえ一応は実業家だから、大統領になったら平気で現実主義に戻るんじゃないか。

田中 僕もそう思うね。いずれにせよ経済的新自由主義を推進する面々が、その弊害としての著しい格差を是正もせずに放置し

続けているのなら、トランプ的現実主義でやってみるというのもアリだと捉える動きは加速するんじゃないかな。

浅田 トランプの暴言は橋下徹を思わせる一方、富豪の息子で実業家、そのくせ非常に識つて点では、麻生太郎副首相に近い感じも「ゴルゴ13」で外交を学んだっていう麻生が首相に振り返り、トランプ大統領と対峙するつても、マンガとしては面白いかもしれないね（笑）。

田中 なるほど。ところで、この間の動向を見てみると、北朝鮮の現体制が崩壊するのも早いような気がするね。今回の2か月にわたる米韓合同軍事演習の作戦行動計画のコードが、北朝鮮軍の南進に対応する従来の作戦コードの5027から5015に変更されて憶測を呼んでいる。50は朝鮮半島を意味するらしいんだけど、下2桁のコード15はアル・カイダのウサマ・ビン・ラーディンや「イスラム国」のジハーディ・ジョンの暗殺行動計画でも用いられていたのだから。

その真偽のほどはともかく、中国とのパイプ役の要人を次々と処刑する彼に対して中国も愛想を尽かしている。しかも「核実験」に対する国連安全保障理事会の制裁決議に同調した中国の動きに反発して、「全ての党員と勤労者は社会正義に背く中国の圧迫策動を核爆風の威力で容赦なく打ち砕こう」と労働党中央本部が方針指令文書を出したというのだから修復不可能。

浅田 北朝鮮が核実験を強行した直後、アメリカは核爆弾を搭載できるB52戦略爆撃機まで朝鮮半島に飛ばして威嚇した。金正恩も怯えてるだろうし、だからこそ無意味な挑発を繰り返してるんだらうね。

それにしても、金正日やブッシュ・ジュ



ニアを懐かしむ時代になるとは（苦笑）。
ブッシュ・ジュニアはモスクに足を運んで
「これはテロとの戦いであってイスラムとの戦いではない」って言ってたからね。トランプみたいに、ISに対しても核攻撃を辞さないとか、そんなことはさすがに言わなかった。だいたい、どこに核を落とすっていうんだよ？

田中 オバマはキューバ国交回復、広島原爆ドーム訪問に続く最後のレジェンドとしてジョンソン体制の崩壊と朝鮮半島の統一を考えているかも知れないし、その前に中国は皆ての同盟国の3代目の命運に終止符を打とうとするかも知れない。どちらが主導権を握るかの駆け引きはあるにせよ、米中が同じ認識に立っているんだよね。となると、東京デイズニールランドにも通った金正男の出番かな。中国もアメリカも、聞き分けの良い人物だと思っているだろうから、ミャンマーのアウン・サン・スー・チーのように彼を使った傀儡政権を誕生させるんだろ。ウーラム、平壤にデイズニールランドがオープンする日も近いかも（笑）。

「待機児童問題を解決するのは、 「宅幼老所」や「保育ママ」。

田中 2006年に鳴り物入りでスタートした「認定こども園」。早くも10年が経って、全国にどれくらいあるか調べてみたら、内閣府子ども・子育て本部のウェブサイトに、昨年「4月1日現在の数は全国で2836件となり、前年度の1360件から1476件増加し、およそ倍増する結果となりました」と、全国で優に4万か所を超える幼稚園・保育所等の総数のわずかなパーセントにも満たない件数なのに誇らしげに記されていたよ（苦笑）。「幼保一元化」の

富豪の息子で実業家、 そのくせ非常識って点では、 麻生太郎副首相に 近い感じも。（浅田）



旗を掲げたものの、文部科学省と厚生労働省、幼稚園業界と保育園業界の間の壁は溶けないんだね。
「保育園落ちた日本死ね!!!」ブログがきっかけで「待機児童」が社会問題化している。厚労省は、「小規模施設」の定員上限を19人から22人へと拡大する規制緩和を実施したから全国で約5000人分の受け皿を確保できると胸を張っているけど、それって保育現場をブラック化する羊頭狗肉の規制緩和でしように。保育施設に入れずに育児休暇を延長した母親の子ども、自宅で求職中の母親の子どもを含めた「隠れ待機児童」は約6万人に上るんだから。そもそも厚労省が「待機児童」の定義を全国統一していないのも論外だよ。
いずれにしても、僕が知事時代に商店街の空き店舗や住宅街の空き屋を改修して県下に350か所設けた老保一元化の信州型

浅田 彰

あさだ・あきら●1957年兵庫県生まれ。
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。
83年に出版されたデビュー作『構造と力ー記号論を超えて』はベストセラーに。

「宅幼老所」、浅田さんが以前から述べているフランス流「保育ママ」を早急に充実すべき。日本でも08年に「家庭的保育事業」と称する保育ママ制度が法制化はされたものの、フランスとは随分と違うからね。
「アシスタント・マテルネル A・M」と呼ばれるフランスの「認定保育ママ」への登録者数は、EU統計局の資料によれば約34万人で就業しているのは約26万人。利用する3歳未満の児童は、約13万人が通所する集団託児所よりも多い約50万人。保育需要の約7割を担っているんだ。自宅で受け入れる前に60時間、その後2年以内に60時間、計120時間の研修が保育ママには義務づけられていて、3歳未満の乳幼児を最大3人、保育所という組織よりも融通が利くかたちで時間帯も曜日柔軟に対応してくれる。自治体ごとに設置された「保育マセンター」には保育ママの研修を担当す

る常駐の保育士がいて、児童の睡眠や食事、遊びなどに関する講習会を開催。保護者とのトラブルの相談やカウンセリングを行ったり、保育ママ同士が情報や知識を共有したり、悩みを分かち合う場にもなっている。祖父母等の親権者が育児を、自宅でベビシッターを利用する場合にも補助金を支給しているフランスは、対GDP比で日本の3倍もの予算を子育て支援に充てている。

浅田 フランスが合計特殊出生率2・01を回復したのはカトリック国だからって言うけど、カトリック国でも増えてないところはいくらでもあるんで、日本の3倍もの予算を投じた子育て支援政策の効果であることは明らか。

田中 まったくその通り。しかも、日本には68万人もの「潜在保育士」がいるんだよ。疲労困憊するフルタイムでなくても誇りを抱けるパートタイムのかたちで保育の現場に携わりたく願っている人も多いはずだから、フランス流の「保育ママ」の制度を導入すれば登録する人は大勢いるはず。

オリンピックが開催予定の20年には首都・東京の人口も減少する。横浜市のように3年間で370億円を投じて株式会社参入を促し、新築の認可保育所を建設しても3千人近い「隠れ待機児童」が存在する横浜市の例もある。全国60000万戸の14%にあたる820万戸は空き屋なんだから、700万円程度の改修費用でオープン可能な宅幼老所と保育ママこそ、造るから創るの21世紀に相応しい施策だよ。迷走する待機児童問題を見ると、保育施設の数や定員を増やしてもらっては近い将来にタコ共食い陥っちゃうと警戒する既得権者に厚労省が遠慮しているのではと訝りたくもなるよね。